

爽やかな秋です。日本の四季の素晴らしさを表す秋晴れの下、運動会や体育祭が開催されています。今年は夏から即冬にはならず、しっかりと秋が巡って来ています。京都の紅葉の見頃が例年より早くなりそうです。

先月は敬老の日（9月18日）を迎えるに当たって、統計からみた我が国の高齢者のすがたについて総務省統計局が取りまとめました。それによると総人口が21万人減少する一方、高齢者は57万人増加した。我が国の総人口は、平成17年に戦後初めて減少した後、20年にピークとなり、23年以降、継続して減少しています。平成29年9月15日現在の推計では、総人口は1億2671万人と、前年（1億2692万人）と比較すると21万人の減少となりました。

一方、65歳以上の高齢者（以下「高齢者」といいます。）人口は、昭和25年以降、一貫して増加し、平成24年に3000万人を超えています。平成29年9月15日現在の推計では3514万人と、前年と比較すると57万人の増加。高齢者の男女別では、男性は1525万人、女性は1988万人で、女性が男性より463万人多い。また、人口性比（女性100人に対する男性の数）をみると、15歳未満では105.0、15～64歳では102.3と男性が多いのに対し、65歳以上では76.7と女性が多い。総人口に占める高齢者人口の割合は27.7%と、過去最高となり、年齢階級別にみると、70歳以上人口は2519万人（総人口の19.9%）で、前年と比較すると、91万人増。約5人に1人が70歳以上。75歳以上人口は1747万人（同13.8%）で、前年と比較すると、59万人増。80歳以上人口は1074万人（同8.5%）で、37万人増。また、90歳以上人口は206万人（同1.6%）で、前年と比較すると、14万人増となり、初めて200万人を超えた。また、100歳以上の高齢者は全国で6万7824人に上り、この20年で約6.7倍にもなった。

事務所のお客様で100歳になった今でも毎日元気に出勤されているスーパー社長がおられます。私は死ぬまで社長をすると意気軒昂です。肖りたいものです。

ところで、前にあった認定機関による経営改善計画策定支援事業が名前を変え早期改善計画となり、ハードルが下がっています。（詳しくは事務所通信を）

9月28日に衆議院が臨時国会の冒頭に所信表明もなんの審議もなしに解散され、10月22日の総選挙となりました。大義なき解散というが、解散するかしないかは時の内閣に委ねられていますで、解散時期は自分が有利になるように選択すればいいのです。驚きましたね。民進党が希望の党に吸収されてしまうとは？与野党問わずになんでもありの状態なのですね。小泉劇場ならぬ小池劇場の様相です。今の時期に何ともコメントはできませんが、選択選挙ですので、投票には行きましょう。